



羽合小学校 学校通信

平成27年2月5日 NO.92

165.3冊

朝、児童玄関であいさつをしていると、こどもたちが図書館に出かける姿をよく見かけます。行きも帰りも絵本袋は本でいっぱいです。わたしたちの羽合小学校のこどもたちの生活の中にはきちんと読書が位置付いているようです。

1年間の読書冊数の目標は1年生から4年生までは100冊、5年生、6年生は80冊にしています。高学年になると読書に取り組む本の活字量やページ数が増えるため80冊に設定してあるようです。1月31日現在でこの目標を達成したこどもたちの数はなんと

418名

です。

右に、学校図書館の学年別図書貸し出し冊数を表にまとめました。1月の学校図書館の開館日は18日でした。その中で、1年生は一人平均29.8冊の図書を借りて読書に取り組みました。また4月から1月までの10ヶ月の累計で一人あたり247.5冊の本を借りて読書に取り組んでいます。全校の一人あたりの累計は165.3冊になります。

【学校図書館 学年別 貸し出し冊数】

| 学 年 | 1月一人平均 | 累計一人平均 |
|-----|--------|--------|
| 1年 | 29.8冊 | 247.5冊 |
| 2年 | 20.5冊 | 212.0冊 |
| 3年 | 15.2冊 | 162.2冊 |
| 4年 | 10.3冊 | 152.5冊 |
| 5年 | 11.1冊 | 133.2冊 |
| 6年 | 7.9冊 | 97.7冊 |
| 全校 | 15.9冊 | 165.3冊 |

(累計はH26年4月～H27年1月の間)

「本は心の栄養である」と言われます。読解力、語彙力、想像力、創造力など伸びる力を挙げればきりがありませんが、本との出会いから自分の夢や希望、人としての生き方や大切な事を見つけられると思います。その入り口にこどもたちは立っているのです。うれしいです。

【愛読中】

私が今、手元に置いて熱心に読んでいるのは「大江戸幕末今昔マップ」という本です。幕末の江戸の地図の上に現代の地図を重ねて見ることができる本で、例えば六本木ヒルズの建っている場所はもともと長府藩毛利家の上屋敷だったという事が分かります。日露戦争で有名な乃木希典大将は江戸在勤藩士の子弟としてここで生まれています。六本木ヒルズと乃木希典、歴史が身近に感じられるように思います。

羽合小学校 寺谷英則